

木材利用システム研究 執筆要領

最終改訂 2023年4月10日

研究発表会で発表される内容（要旨）は、下記の執筆要領に則り作成してください（別ファイルのテンプレートを参考のこと）。提出された原稿は、木材利用システム研究会発行の会誌『木材利用システム研究』に掲載し、当研究会 Web ページおよび J-STAGE で公開します。なお、提出された原稿に編集委員会が改訂を求めることがあります。

このため、原稿の最終提出をもって、著作権は木材利用システム研究会に帰属すること、および当研究会 Web ページ（J-stage を含む）で公開することに承諾したとみなされます。詳しくは、当研究会の著作権規程（<https://www.woodforum.jp/regulation/copyright.pdf>）をご覧ください。著作権規程に関してご不明な点は、当研究会事務局までお問い合わせください。

—原稿作成要領—

【ファイル形式】

- ・ パソコンを利用し、MS Word (.docx) で作成してください（Mac 版も可だが、編集委員会では Windows 版 MS Word を使用するため、レイアウトやフォントの再現性に留意すること）。
- ・ 提出時には MS Word の原本ファイルに加え、図表の元データファイル（Excel、PowerPoint、画像等のファイル）を添付してください。

【見出し】

- ・ 原稿は A4 用紙を用い、縦置き、横書きとし、上下左右 30mm ずつ余白を取ってください。1 ページ当たり 40 字×40 行とし、行間や文字間隔を含め、レイアウトの変更は認めません。分量は 1 頁以上 4 頁以内とします。ただし、編集委員会が、超過ページを認める場合があります。
- ・ タイトルは第 1 行に中央揃えとし、副題がある場合には第 2 行に中央揃えで入れてください。文字は MS ゴシックで 12 ポイント (p) とします。

【発表者名、連名】

- ・ 氏名はタイトル（副題を含む）の下に 1 行をあけて右寄せでお書きください。
- ・ 文字は MS ゴシックで 10p とします。
- ・ 姓と名の間にスペースは入れないでください。
- ・ 連名者は、「・」で区切り、2 行にわたっても構いません。口頭発表者の氏名の前に ○印をつけてください。

【所属】

- ・ 所属は簡略のため、法人形態（株式会社、独立行政法人等）を指す呼称は省略する。
- ・ 大学等の研究機関は、機関名のみとし、学部・研究科名や付置研究所等の名称は付さない（例：○○大学）。
- ・ 学部生、院生と教員・研究員などの区別はしないが、発表者が現在の所属とは異なり、かつ、元の所属とすべき事情がある場合のみ「元」をつける（例：元○○大学）。

【本文】

- ・ 本文は氏名（所属）の後に 1 行あけ、段組みなし（1 段組み）、両揃えとし、MS 明朝、10p とします。文体は「である」調とし、句読点には「、」と「。」を用います。
- ・ 見出しは MS ゴシック、10p とします。見出し番号は上から 1（全角アラビア数字）、2、…、さらに（1）、（2）、…と整理し、番号と見出しの間に全角 1 文字分のスペースを挿入してください。
- ・ 最下部に、明朝体、10p、左寄せで、キーワード（5 つ以内）と連絡先を記入します。連絡先の代表者の氏名、メールアドレスの記入は任意です。関心を持つ方からの問い合わせを想定して設けますが、メールアドレスの公表を望まない場合には記入する必要はありません。

【図表】

- ・ 図表や写真を挿入する場合、「図 1」「表 1」「写真 1」と半角数字で番号を順に割り振り、全角 1 文字分のスペースを入れたうえでタイトルを続けてください。その際、図や写真のタイトルは下部、表のタイトルは上部に配置します。
- ・ 図表や写真のタイトルは MS ゴシック、10p とし、図表を作成する上で参照した資料を必ず明示してください。その際、「資料：」で書き出し、読点は付さないでください。
- ・ グラフの縦軸、横軸には単位を括弧なしで付してください。
- ・ 図表は、カラー印刷や PDF 変換に耐えるように作成してください。その際、エクセルでパターン配色は避け、ベタ塗りのみ使用してください。
- ・ 写真以外の図表等は、原則「拡張メタファイル（EMF）」か「Office オブジェクト」で貼り付けてください。
- ・ 写真やイラスト類は貼り付けサイズで 300dpi 程度の解像度とし、JPEG、TIFF または PNG で貼り付けてください。

【注釈】

- ・ 注釈は原則として使用しない。ただし、編集委員会がやむを得ないと認める場合、Word による脚注の挿入ができる。

【引用文献】

- ・ 本文に引用した文献を、立花（2014）、安藤・多田（2020）、（岩永・森、2015）のように明示してください。
- ・ 引用した文献は、下記の要領で文末に引用文献リストとして明示してください。並び順は、本文ではじめて引用した順とし、（1）、（2）…と番号を付してください（既刊の木材利用システム研究も参考にしてください）。
 - （1）著者名（発行年）論文タイトル、『掲載誌』第〇巻（第◇号）：△～△△頁
 - （2）著者名（発行年）『書籍等タイトル』、出版社、XXX 頁
 - （3）著者名（発行年）『書籍等タイトル』、URL（XXXX 年 XX 月 XX 日最終閲覧）

【その他注意事項】

- ・ 編集委員会が必要と判断した場合、表記ぶれ・体裁等の修正をお願いする場合があります。また、文意を変えない程度の微修正は、断りなく編集委員会で修正する場合があります。
- ・ （再掲）編集作業上、図表のデータが必要となることがあるため、図表の原データ

(ファイル)を要旨と合わせて下記提出先に送付してください。

- ・ 発表当日の配布資料、当研究会 HP 上での公開はともにカラー版となります。このことを念頭に図表等を作成し、上下左右の余白にはみ出ないようにはり込んでください。
- 要旨提出〆切：2023年8月11日（金）
- 提出先：木材利用システム研究会 編集委員会 (editor@woodforum.jp)

MS ゴシック 12pt、中央寄せ

MS 明朝 10pt、右寄せ
連名の場合、筆頭発表者に○

タイトル
—副題—

改行

○発表者名（所属）、発表者名（所属）、発表者名（所属）

改行

見出し：MS ゴシック 10pt、右寄せ、全角数字＋全角スペース＋見出し（以下同

1 背景と目的

本文*****

本文：MS 明朝 10pt、右寄せ、段落行頭は一字下げ（以下同

改行

2 研究方法

本文*****森（2015）は、*****。
*****（立花ほか，2015）。*****

小見出し：MS ゴシック 10pt、右寄せ、
全角括弧＋数字＋全角スペース＋小見出

改行

3 結果と考察

（1）実験結果とその評価

本文*****（図1）。

図表番号は本文で引用
図タイトルは図の下に配置、図表の資料・
出典を明記

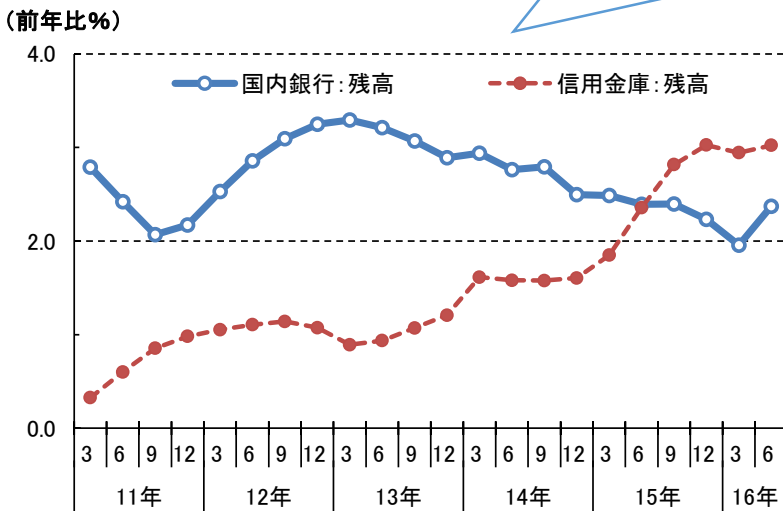


図1 住宅ローン貸付残高（前年比）

資料：日本銀行「預金・貸出関連統計」より作成

(2) 考察と残された課題

本文表1によると、****。

表タイトルは表頭に配置

表1 住宅再建を支援する地銀の動き

本店所在	名称	特徴的な住宅ローン商品	メリット	取扱開始日
宮城県	A銀行	①集団移転先で、自治体から土地を賃借して住宅を建設する場合の専用ローン ②借入金の元金返済を最長1年間据え置きできるオプションを既存の住宅ローンに追加	①住宅のみに融資担保を設定できる ②建築資材不足などにより長期化する建築期間へ対応可能	①13年2月1日 ②13年2月15日
福島県	B銀行	③防災集団移転促進事業により移転する場合で、新たな住宅ローンを契約する場合、取り扱い手数料を無料化	③被災者の負担軽減	③13年1月31日 (公表日)
岩手県 宮城県 福島県	各行	④住宅ローン金利の引き下げ、融資条件の緩和等	④被災者の負担軽減	④震災後

資料：各行プレスリリースを基に作成

見出しはMSゴシック、10pt、左寄せ

文献はMS明朝、10ptで(1)..と番号をつけ、本文に森(2015)または(立花ほか, 2014)のように引用する。折返し部分は2文字下げとする。

改行

引用文献

- (1) 森恵(2015)木材の需要拡大に向けた技術開発、『木材加工』10(2):2~8頁
- (2) 立花敏・久保山裕史・井上雅文・東原貴志(2014)『木力検定③森林・林業を学ぶ100問』海青社、124頁

改行

キーワード：○○、××、△△

(連絡先：氏名 name@yourdomain.jp)

MSゴシック 10pt、左寄せ

MS明朝 10pt、右寄せ